

政府・自公保連立与党による「イラク特措法」成立強行の暴挙に断固抗議する（声明）

日本高等学校教職員組合中央執行委員会

政府・連立与党は七月二十六日未明、参議院本会議で日本国憲法と多くの国民世論をふみにじり、「イラク特措法」の成立を強行しました。「有事関連三法」の強行成立に続く今国会でのこの暴挙にたいし、満身の怒りをこめて抗議するものです。政府・連立与党が、会期末ギリギリに「イラク特措法案」を提出し、無理やり会期を延長して、しかも、イラクに自衛隊を派遣する「大義」が揺らぎ、憲法との深刻な矛盾も解明されないまま、数の力で成立を強行したことは、議会制民主主義を著しくじゅうりんするものであり、絶対に容認することはできません。

私たちは「イラク特措法案」がいくつもの重大な問題点をもっていることを指摘し、廃案を強く要求してきました。

その第一は、イラク戦争とその後の占領支配に「大義」も「道理」もないことです。イラク攻撃の「大義」とされた「大量破壊兵器」は未だ発見されておらず、アメリカ・イギリス国内では「謀略による戦争」との不信が高まり、両国議会において政府答弁や「資料」に対する疑惑がきびしく追及されています。イラク攻撃をいち早く支持した小泉首相は国会で答弁不能、開き直りの姿をさらけ出し、米国の言い分を鵜呑みにする異常な従属外交の本質を露呈しました。

第二は、「イラク特措法」のねらいが、イラク復興支援に名を借りて、無法な米英の軍事占領に日本の自衛隊を参加させることにあることです。これは武力行使を禁止し、交戦権を否定した憲法九条に真つ向から反することは明白です。米軍高官の発言からも明らかなように、イラクの現状は各地で戦闘状態が続いており、ブッシュ大統領の戦闘終結宣言後も湾岸戦争を上回る多数の米英軍兵士が死亡しています。小泉首相は「どこが戦闘地域で、どこが非戦闘地域かわかるわけではない」とまで無責任な答弁を繰り返し、「自衛隊員が殺されたり、あるいはイラク人を殺傷することがあるかもしれない」とまで言つてのけました。軍事占領に参加する自衛隊は、イラク国民に銃口を向けることになるのです。

第三に、イラクへの自衛隊派遣は、日本国憲法のもとで築いてきた日本とアラブ諸国との友好関係を破壊するとともに、現地で地道な復興活動にとりくむ日本のNGOなど民間による支援活動に重大な障害をもたらすことです。

いま、求められているのは、イラク国民が自らの手で国を再建し復興するために、国連を中心に復興支援の活動をすすめることであり、けつして米英軍による軍事占領支配ではありません。アメリカの言うままに、軍事占領へ自衛隊を派遣することは、イラク国民の意思を尊重した真の復興に逆行するきわめて有害なものと言わなければなりません。

私たちは自公保連立与党のたびかさなる暴挙に強い憤りをおぼえるとともに、この平和憲法に反する悪法の発動を許さないあらたなたたかいへの確信を深めています。それは、平和を願い、日本国憲法の平和原則を支持する圧倒的多数の国民が、国会内の「多数」による悪法成立は「憲法制定後の歴史の重大な汚点」であり、その具体化をけつして許しはしないからです。

この間の「有事法制」「イラク戦争」「イラク特措法」を阻止する反戦平和のたたかいは、地球上を何度も駆け巡つた国際的な共同の流れと呼応して、日本国内でも全国各地で大きなうねりとなって広がりました。私たちの運動と国会審議がすすむなかで、イラクへの自衛隊派兵に反対の国民世論は過半数を超えました。イラク戦争に反対して二度にわたる全国集会を成功させた高校生は会期末の七月二十四日、東京で集会を開き「イラク特措法」案の廃案を求める議員要請行動を展開しました。青年の平和へのエネルギーが全国に広がっています。

国際世論は米英によるイラク戦争の「大義」への疑惑を追及し、米英両政権は急速に国民の支持を失い、窮地に立っています。イラクへの占領軍支援のための軍隊の派遣は国際社会からの孤立の道であり、小泉内閣・連立与党は、内部からも公然と「自衛隊の派遣は選挙が済んでから」という声があがるほど矛盾を深めています。

私たちはいま、文字通り「教え子を再び戦場に送るな」の誓いの実践が求められる歴史的な局面に立っています。

半世紀以上にわたって日本国憲法を守り抜いてきた教訓に学び、教育基本法改悪阻止のたたかいとむすんで、立場や信条の違いを超え、職場から、地域から共同をひろげて奮闘する決意です。それが、平和な二十一世紀の社会を求めて立ち上がった高校生・青年の行動をしっかりと受けとめ、ともに生きる教職員、大人たちの責務だからです。

予想される国会解散・総選挙においては、平和と民主主義を乱暴にふみにじり、労働者・国民に塗炭の苦しみをおしつける小泉自公保連立政権をうちやぶり、政治の民主的転換をめざして奮闘するものです。

